

苫小牧市立清水小学校学校だより

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』

◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

第9号 令和2年11月20日発行

TEL 33-7285
simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp

空を見上げない？



校長 堀田 稔

校庭が赤や黄色に色づき、きれいな秋の風景を見せてくれていましたが、その葉も散り、いよいよ師走へと入っていきます。今年も冬に向かい北海道らしい寒さになってきました。いつものように校門の前で子ども達に朝のあいさつをしている時に気が付いたことがありました。毎日のように決まった時間に「ゴー」と新千歳空港を離陸した飛行機が頭上を通過する大きな音がします。空を見上げているのは私だけで子ども達は知らん顔です。他の地域の子も達なら、必ず空を見上げ、「飛行機だ」と言っていると思います。いつも聞こえ、見られる所に住んでいるため反応しないのか、色々と感じかされる場面でした。

環境って何（皆さんご存知でしょうか改めて確認）

環境とは、私たち人間の周りにある全ての状況のことです。辞書で調べると、「人間や生物の周囲にあって、意識や行動の面でそれらと何らかの相互作用をおよぼし合うもの」と書いてあるように、多くの意味があります。風土や気候、周辺地域、事情、立場や境遇、雰囲気、自然や物理的なもののほかに、文化や生活スタイルにつながるものも含まれています。その子の周り全てが環境であり、周りの大人などが使う言葉や行動も環境の一つとなります。

子ども達の環境

子ども達の現在おかれている環境とは、自然や風土、習慣等もありますが、学校・保護者・地域の大人が作り上げているものや大人自身がほとんどです。ですから、周りの大人の影響を大きく受ける傾向にあります。また、情報を多く与えられすぎると、取捨選択する時の判断基準まで周りの大人の影響を大きく受けるといわれています。そして周りの大人の「まね」をよくします。なぜならば「学ぶ」の語源は「まねる」から来ているからだそうです。

そこで大切にしたい大人の「言葉遣いと行動」

「〇〇しないなら、もう知らない！ 勝手にしなさい！」とか、片付けをしない子に「片づけないなら、捨てちゃうよ！」などと言って、それがしつこだと思う大人が心理的に圧をかけ子どもに言うことを聞かせることを「ダブルバインド」と言うそうです。このようなことを周りの大人に続けられた子ども達は

- ①「大人への恐怖心と不安感が募る」 ～子どもが精神のバランスを崩す。
- ②「友達や周りの人にやるようになる」 ～ダブルバインドの脅し文句で相手に言うことをきかせる。
- ③「大きくなって大人への反撃に出る」 ～〇〇してくれないと学校へ行かない。〇〇買ってくれないと万引きしてやる。

と逆に親や大人、周りの友人等に、言うことをきかせるように脅迫する言葉を言ったり、行動したりするそうです。

「人間の行動は、その人の性格だけで決まるのではなく、置かれた環境によって多くが決まる」と言われています。大空を見上げない子ども達を見て、それぞれに暮らす「環境」が人の考えや行動に大きな影響を与えていることを改めて考えさせられました。

「大人の言葉と、行動と態度によって作られた環境」が、多くを学ぶ子ども達のよりよい環境となるように、学校・保護者・地域が同じ方向を向いて、教育活動を進めていきたいと考えています。「未来という大空へはばたく子ども達」のために、今後ご理解・ご参画をよろしくお願いいたします。